

# 市民公開講座

**日時** 令和6年2月25日(日) 13:00~16:00  
(受付12:00)

**会場** コスモスホール三間

**入場料  
無料**

**観覧方法** 整理券を以下の場所で2月1日(木)から配布いたしますので、当日ご持参下さい。

**配布場所**

- 宇和島市役所 地域包括支援センター (宇和島市役所 1階)
- 三間コスモスホール (三間町迫目)
- 三間 もみの木 (三間町元宗)
- フジグラン北宇和島
- フジ宇和島店
- フジ宇和島南店

**映画**

**第1部**

## 「いのちの停車場」上映会

**時間** / 13:00~15:00

**出演** 吉永小百合、松坂桃李、広瀬すず  
石田ゆり子、田中泯、西田敏行

**監督** 成島出 **脚本** 平松恵美子

**原作** 南杏子「いのちの停車場」(幻冬舎文庫)



©2021 「いのちの停車場」製作委員会

【あらすじ】 東京の救命救急センターで働いていた、医師・白石咲和子(吉永小百合)は、ある事件の責任をとって退職し、実家の金沢に帰郷する。これまでひたむきに仕事に取り組んできた咲和子にとっては人生の分岐点。久々に再会した父(田中泯)と暮らし、触れあいながら「まほろば診療所」で在宅医として再出発をする。「まほろば」で出会った院長の仙川徹(西田敏行)はいつも陽気な人柄で患者たちから慕われており、訪問看護師の星野麻世(広瀬すず)は、亡くなった姉の子を育てながら、自分を救ってくれた仙川の元下で働いている。ふたりは、近隣に住むたった5名の患者を中心に、患者の生き方を尊重する治療を行っており、これまで「命を救う」現場で戦ってきた咲和子は考え方の違いに困惑する。そこへ東京から咲和子を追いかけてきた医大卒業生の野呂聖二(松坂桃李)も加わり「まほろば」のメンバーに。野呂は医師になるか悩んでおり、そして麻世もまた、あるトラウマに苦しんでいた。様々な事情から在宅医療を選択し、治療が困難な患者たちと出会っていく中で、咲和子は「まほろば」の一員として、その人らしい生き方を、患者やその家族とともに考えるようになってゆく。野呂や麻世も「まほろば」を通じて自分の夢や希望を見つけ、歩みはじめた。生きる力を照らし出す「まほろば」で自分の居場所を見つけた咲和子。その時、父が病に倒れ…。父はどうすることもできない痛みと苦しみ、あることを咲和子に頼もうとしていた。

**第2部**

在宅緩和ケアに関わる  
多職種によるシンポジウム

**時間** / 15:10~16:00

～人生の最期をご自宅で過ごすには～

**登壇者**

□羽外科胃腸科医院 □羽 正知 先生

沖内科クリニック 副院長 沖 良隆 先生

愛ほっと訪問看護ステーション 西野みはる 先生

ダテ薬局 山内 隆史 先生

共催：一般社団法人 宇和島医師会・宇和島市・宇和島市病院局・三間もみの木